



【望月寒川 河川改修】



Topic 安心・安全な暮らしのために
建設部土木局河川砂防課

河川の特徴を踏まえて計画する

望月寒川は、札幌市の豊平区、南区、白石区を流れて月寒川に合流する河川です。近年では、平成12年と14年に浸水による被害が発生したため、平成16年から河川改修に着手しました。この河川は、住宅が密集しているエリアを流れているので、改修で川幅を大きく広げることができなかったため、河川の上流側で洪水時に水を分流させて流す放水路トンネルを整備する計画としました。また、流域内で協力して対策を進める「流域治水」の取り組みとして、札幌市の流域貯留浸透事業※とも連携して実施しています。

※流域貯留浸透事業：河川外の学校や公園などの敷地内に雨水を貯めたり浸透させたりする施設を整備する事業



▲2つの川を地下でつなぐ放水路トンネルの一部の様子

Topic 放水路トンネルとは

事業の概要

トンネルは直径4.8m、延長約1.9km、地面から約3～14m程度の深さにあって、豊平川へ合流します。分流地点で望月寒川の水位が約1mに達すると放水路の入口に洪水が流入し、河川水のみがトンネルに入る設計となっています。



Topic “ケンセツ”の面白さ
札幌建設管理部事業室事業課

大きなプロジェクトを完成させるために

望月寒川放水路トンネルは、平成26年度に着手し、8年かけて令和4年度に運用を開始しました。このような大きなプロジェクトでは、様々な立場の人がそれぞれ役割を持って働いています。現在私は、施設が無事完成するまで、工事の進捗を管理する仕事を担っています。

ケンセツで、ものを造ることは自然を相手にすることですから、問題が発生して、その都度対応しなければいけないことが多くあります。そのようなことも、働いている仲間とともに解決していくことで喜びが得られるし、この仕事をしていく面白さかなと思います。

ぜひ、皆さんの身近にある河川や道路、橋に興味を持ってもらえればうれしいです。中には、私たちが造りあげた施設があるかもしれません！



【またひろしま総合運動公園線 道路新設整備】



Topic エコロードを目指して
建設部土木局道路課

自然環境に配慮した計画・設計とするために

この道路は、北広島市にオープンした『北海道ボールパークFビレッジ』へのアクセスを向上させるものです。ケンセツの現場は、北広島市内の特別天然記念物「野幌原始林」から樹林が続く自然豊かな環境の中にあるため、地形に影響する範囲を小さくしたり、重要な動植物を適切な場所へ移植するなどの対策を検討し、できる限り自然環境を変えないように最大限努力しました。

この道路が、世界に誇るボールパークへつながる道路としてだけでなく、これからも自然環境の保全を優先した自然に優しいエコロードとして、さらに完成度が高まればと思っています。



▲北海道ボールパークFビレッジ

Topic ボールパークへアクセス
するために

事業の概要

一般道道またひろしま総合運動公園線は『北海道ボールパークFビレッジ』の北側の市道から国道36号に至る約7kmの道路です。ボールパークの開業により交通渋滞が予想されたため、北海道では球場周辺の道路における安全でスムーズな交通を確保するため事業を行いました。

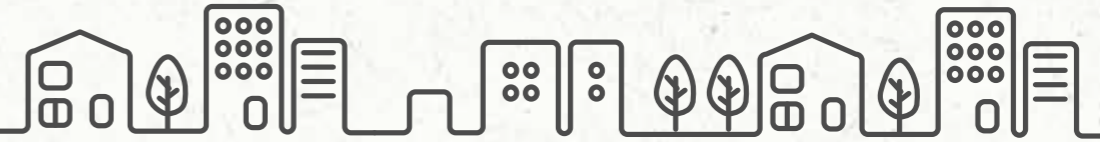
Topic 自然に優しい道路を実現するために
札幌建設管理部事業室事業課

さまざまな動植物を守るために

工事は専門家の方からの助言をもらいながら進めました。猛禽類の重要な種に関しては、配慮する区域を決めて繁殖期間中は工事を休止したり、エゾサンショウウオは産卵期前に工事区域内での産卵を回避するための対策を行っていました。また、植物の重要種は、調査によりそれぞれの生育環境に適した場所を選び移植したほか、現地で採取した種子から苗を育て、ボランティアの協力により道路の植生を復元する取り組みもしています。

私たちは、そこに生きている動植物がそのままの生活を続けられるように、自然を守ることを優先した自然に優しい道路の実現のため、開通後も継続して取り組んでいます。





【異常気象や地震による災害からの復旧】

Topic 災害からの復旧
建設部土木局河川砂防課

すみやかな復旧に向けて

近年、異常気象や地震などによる大規模な自然災害が多く発生しています。大雨によって、道路が崩れて通行できなくなったり、河川が氾濫し地域が浸水したり、地震によって様々な施設が損傷すると、道民の生活や経済活動に大きな影響を及ぼします。

災害が発生した場合は、人命の確保や、施設における被害の拡大防止などのために応急的な対応を行うほか、すみやかに施設の機能を回復させるための復旧工事を行っています。



被災直後



被災直後



復旧状況



復旧状況

▲平成28年8月連続台風による災害からの復旧

▲平成30年7月豪雨による災害からの復旧



▲ドローンによる調査状況

Topic 安全で速やかな現地調査
建設部土木局河川砂防課

ドローンを活用し状況を把握

道路が被災して車などが入っていけない場合には、ドローンを活用した調査を行います。これにより、調査する人の安全を確保したうえで、すみやかに状況の把握ができ、必要な対応の検討を進めることができます。

【子育てに配慮した公営住宅の整備】

Topic 子育てしやすく
住み続けられる暮らしの実現

子育て世帯が暮らしやすいように

子育て世帯が住宅やコミュニティで孤立しないように、社会全体で子育て支援に取り組む必要があります。

そのためには、子育て世帯のニーズに合った住宅やサービスを提供することなどにより、子どもたちが安心して成長できる環境を整え、地域コミュニティを形成し支え合うことで、より良い暮らしを実現していくことが大切です。



▲集会所を活用した子育て支援サービスの提供状況



▲道営子育て支援住宅

Topic 「道営子育て支援住宅」
の整備

事業の概要

市町村と連携し、子育て世帯に対する良質な住宅供給と子育てを支援するサービスの提供を併せて行う道営住宅(道営子育て支援住宅)を整備しています。

Topic 温もりあふれる交流の場を創出
建設部建築局建築整備課

設計・施工では

住宅は、ユニバーサルデザインのほか、子ども事故防止等に配慮した設計に努め、集会所においては、団地住民だけでなく、地域の子育てサークルなども活動できるよう、ニーズや要望を反映させながら、子育て支援のための最適な空間を計画し、内装に木材をふんだんに使い、温もりあふれる交流の場を創出しています。

完成後、笑顔でいきいきと過ごす親子の姿を見たときには、大きな達成感を得られました。これからも地域のニーズにあったものづくりを行っていきたく考えています。





社会を変えていく ケンセツで変える ミライへつなげる

みなさんも一緒に変えていきませんか？



北海道建設部

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

(代表)011-231-4111

問い合わせ先:建設政策局建設政策課

